

新宮山彦ぐるーぷ第2101回

### 又劔山・竜口尾根山行

◇実施日…2020年10月20日(日)晴

◇参加者…沖崎吉信、生熊千満子、中前偉、濱野兼吉、

高階鈴子・美根子、竹中卓治、山川治雄、

梶野照雄、今中三幸子

乾克己、加藤洋子、幸田由美

13名

上北山村「あざさ寿司」を過ぎ、北山川を右折してふれあい橋を渡った神社の横に集合。全員揃ったところで、梶野・今中さんの車を川原の駐車場に置き、沖崎・乾・山川の車に分乗してサンダリ林道登山口を目指して出発。



展望台で



登山口



又劔山山頂

林道は舗装されてそれなりの幅員もあって広いのだが、落石が多くそれを避けながらの運転である。池郷・行仙への国道425

号と比べればはるかに安心して乗っていられる。山を縫いながら登っていく。サンギリトンネルを抜けて左折すると、左手に大峯山脈が大普賢岳周辺から笠捨山まで眺望できる。更に進むと展望台があり、そこには大峯山脈の写真に主要な山々の山名が記されていて非常に良く分かる。展望台から少し進むと登山口があり、駐車できる場所が確保されている。



大台・中の滝



急な下り



五兵衛平で昼食

全員揃ったところでミーティング。初参加者の紹介や縦走路での注意事項等の連絡があり、林道脇に低い石垣がありそこに取り付けられた梯子が登山口。乾さんを先頭に又劔山・竜口尾根を目指して出発。ガレ場をツヅラ折れに登り詰め、ここから左に進路を取って尾根路の急登を登り詰めれば又劔山(1377・2m)である。山頂には三等三角点があり、山彦の標識や乾さんのサークルR標識もある。山頂周辺にはポツンポツン杉や檜の巨樹があつて、落雷にでもあつたのであろう傷跡は痛々しいが、さらに風雨に堪えてきたたくましい姿にも元気ももう。山頂からの眺めも素晴らしく、大峯の山系を見ながら、天気が良く穏やかな秋晴れ

のもとしばし休憩を楽しむ。

又劔山をすぎ尾根を左にとつて下っていく。ここからが痩せ尾根の登り下りの繰り返しである。この縦走路は標識も少なく時々路が分からなくなっている箇所が何カ所もあり、山行記には単独山行は厳しい縦走路であると記されている。45分ほど歩いて丸塚山(1305m)で休憩。

竜口尾根は右手には台高山脈、左手には大峰山脈、更に右前方には大蛇岨、中ノ滝、西ノ滝、西大台が眺望できる。秋晴れの絶好の天候も重なって、紅葉には少し早いが見事な眺望を堪能しながら、五兵衛平に到着。丁度12時となり、ここで昼食となった。

昼食時には、さんま寿しや羽二重餅、お菓子等の差し入れやコーヒーの振る舞いもあって、楽しい一時を過ごし全員で記念撮影。乾・今中・加藤・幸田さんらは1320mのピークを目指して出発。他の者は来た路を戻り帰路についた。



本日の参加者



4名は先に進む



丸塚山で休憩

又劔山・竜口尾根は、大峯・台高山脈、大台ヶ原を眺望できる素晴らしい山であるが、「近畿の百山」、山と溪谷社の「奈良の

山」、「大峯・台高山」にも掲載されていない隠れた名山である。

山名の由来も上北山役場に問い合わせたが、判らないということであった。沖崎代表に「日本山名事典」で調べてもらったが、山の所在位置等分かるのだが、名前由来までは判らなかつた。

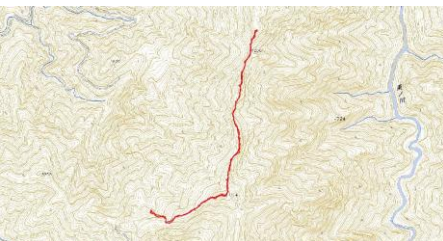
一見簡単なようで、アップダウンの連続の痩せ尾根の縦走路は、不明瞭な箇所もあり厳しい竜口尾根であったが、天候に恵まれ楽しい山行となった。



大峰山脈の稜線



無事下山



本日のルート

最後に、秋はキノコと縦走路  
周辺を探すがキノコはほとんど見なかつた。岩の上に生えていた  
ホトトギスは帰って調べたらキイジヨウロウではなかつた。

### 行動タイム

(記：濱野 写真：梶野)

登山口09:50→10:25又劔山10:35→11:20丸塚山11:25→12:00五兵衛平12:25→13:10丸塚山13:20→14:00又劔山14:14→14:40登山口